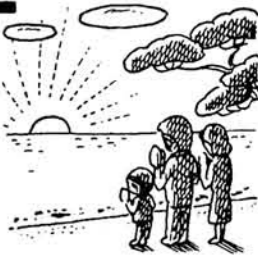


賀正



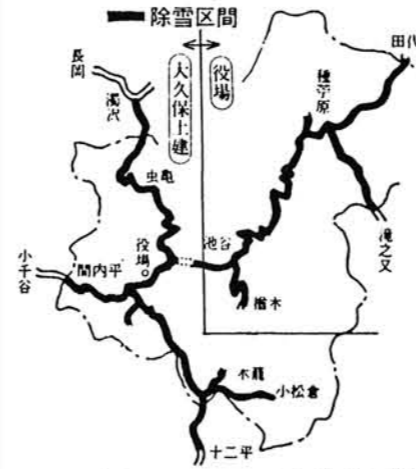
初日の出

お知らせ

今冬の除雪計画

村では昨年十二月一日から除雪体制を整えています。昨年は小雪でしたが今年はどうでしょうか。予報や占いでは小雪という意見が多いようです。

今年の除雪区間の総延長は三・四km(昨年は二八・五km)、小松倉へも除雪が行われます。また、「夜間除雪」も試験的に開始されます。夜間除雪は午後七時からバス路線について、降雪状況等を見ながら



一車線確保の除雪を行うもので、試験的なものですから不定期となります。

除雪は、村と大久保土建が行います。種芋原、池谷間と桂谷、池谷、榎木間は村が行います。その他、竹沢、虫亀、濁沢間、竹沢、間内平間、竹沢、木籠、小松倉、十二平間さらに種芋原、田代、滝ノ又間は大久保土建が担当します。その他、幹線以外の村道除雪は、降・積雪状況を見ながら村が行います。雪上車による圧雪は、昨年どおりです。

路上駐車はしないでください。冬期間、除雪区間は駐車禁止と

除雪にご協力ください

受診には必ず保険証を
病院や診療所で受診される時、保険証を持参されたい人が多く、事務に支障が起きています。受診の際には、必ず保険証を持参ください。七十歳以上の人は、老人保健医療受給者証も必要です。
国保の加入・脱退のお届けもすみやかにお願いします。

なります。狭い道です、路上駐車は除雪作業の大きな障害となり、交通がストップしたり、事故の原因となります。

道路に雪を捨てないでください。道路沿いの家の雪おろしは、連絡をとりあって一斉作業をしてください。その際は、必要により交通規制をします。

玄関や車庫の雪はらひは、交通に支障のないように行ってください。

なだれが発生したらなだれにより通行できない場合や、なだれの危険が予想される時、その他除雪に関することは、次にご連絡ください。

村除雪対策本部(役場建設課内) 電話 (59) 三三三〇
県道除雪委託業者(株)大久保土建) 電話 (59) 三〇一六

日々雑感

雪を楽しむ

朝起きて急いで玄関の戸を開けて見ると外は一面の銀世界、「雪が降ったぞ!」と奥にむかって声をかける、「わあーいやったあ!」と大きな声とともに跳ね起きて飛び出して来る孫娘、六才になるがいつもは寝起きぐせが悪い子なのに、「雪が降ってどうして嬉しい」と聞くと、だつてめいろあそびも出来るしあそびがいっぱいあるもん、とおおはしゃぎである、そんな孫娘に遠い子供の頃の思い出が重なった。

いつの時代でも雪国に住む子供達にとって雪は限らないあこがれであることに変わりない。

初雪が三日も降り続いてたちまち一メートルも積った、屋根の雪おろしをするなど、好天続きでのんびりしていたみんなをあわてさせたが、其の後また良い天気が続いて、山々の肌が春の残雪をおもわせるような景色と、やわらかな日差しで明るいお正月をむかえることが出来てなによりです。

鈴木牧之の北越雪譜に、露は地気の粒珠する所、霜は地気の凝結する所、冷気の強弱により其形を異にするのみ。地気天に上騰形

※除雪車は、大型で小まわりがきまません。除雪作業中は危険です、

村長酒井省吾

を為す雨、雪、霰、霰、雹となれども温気をうくれば水となる。また、およそ暖国の雪は一尺以下なので書画や詩歌の楽しみの方衆となるが、わが越後の雪は一丈以上も積るので、苦勞は多く、金ばかり、何の楽しいこともない。とあります。

雪国に住む人々にとって、これまでの雪とのかかわりはいはすべて雪との闘いであり、生活に加わる雪の重みがありにも大きいために、雪のすばらしさも、楽しさも、みんな其の下に埋もれてしまった感が深い。最近克雪対策が進むにつれてようやく、雪の利用を考える余裕が生れて来たことはまことによろこばしい事であり、克雪は雪を排除することであり、利雪とか親雪は雪を受け入れる事につながり、雪すなわち自然とのつきあいをより良いものにした。そんな生活観、価値観の現われにほかならないと思います。時は流れ人は変わっても雪国の営みは憩むことにはないわけですから、その生活を楽しいものに変えてゆく、そんな努力が今こそ必要なきときではないでしょうか。

指示があるまでは、人も車も絶対に近づかないでください。

あけましておめでとう
いねります



今年も竜年

「光陰矢の如し」と言いますが、光・陰は、日と月の意味。時の流れは矢のように早く、再びもどらないということでしょうか。昭和六十二年が過ぎ去り、新しい年が明けました。

今年も竜年。竜は想像上の動物ですが、湖水の底や地底にすみ、空を自由に飛び雲を起し雨を降らすという万能の動物です。十二支の中でも、竜は勢いが最も強く、草木が勢いよく伸長する状態を表わしているということです。今年も豊作ということになるのでしょうか。また、竜は限りなく自由に空を飛翔できるということから、成功・出世を願う人間の心理を象徴しているとも言われます。他にもいろいろと言われますが、竜年にも富む年ということだそうです。新しい年は、過ぎた事は全て忘れ、竜のように自由に積極的に躍動し、開運・幸運の年としたいものです。

謹賀新年



山古志村長 酒井省吾

昭和六十三年の新春を寿ぎ村民皆様方のご清祥を心からお慶び申し上げます。

昨年は雪も少く大変明るい冬を過ごすことが出来、そして春以降災害も無く秋から年末にかけては特に良い天候に恵まれ、一年を無事に送ることが出来た事を感謝いたします。ことにすがすがしい新春をむかえるに当り、どうか今年も良い年でありますように、とお祈りをいたしております。いま我が国は人口の高齢化、高度情報化社会への移行、激

動し複雑化する国際情勢等、内外ともに厳しい変革の時代をむかえたなかで、急激に進む円高、市場開放など対外経済問題は私達の日常生活に大きな影響を及ぼしております。

いっぽうここ数年国が強く推し進めて来た行政改革、財政再建策はさけて通れない道であり、私達地方自治体もこれに習って行政の簡素化効率化と、財政の健全化に努めて来たところでありますが、景気の低迷と相まって極めて厳しい時代が続いてまいりました。最近ではこれまでの輸出依存型から内需振興型の経済へと転換がはかられようとしており、景気も回復にむかい明るい兆しが見えたようであることよろこばしいことであ

ります。さきに発表された第四次全国総合開発計画に依れば、多極分散型の国土形成を目指してこれまでの定住構想を、更に発展した交流と定住、と位置づけております。

自らの住む、かけがえのないふる里を、どのようなかたちで子や孫にのこしていけるか。いま私達に課せられた大きな使命であり、責任であるうかと思えます。自信の持てないところに定住はおろか交流の芽が育つはずがありません。私達は毎日の生活の中であまりにも悪いところだけをとりだして悲観的な言動に過ぎないまいだろうか。良いところを見つけてこれを伸ばそうとする意識や努力が欠けているように思えてならない。例えば雪について考えて見ると、雪国の次代を担う子供達の、雪に対する意識は成長するに従い雪から遠ざかる傾向が強いとされています。これらの意識は、寒さや道路の悪さな

どのほかに、日常の生活の中で大人たちの雪に対する感情との関係で形成されるといわれます。従って子供達の意識形成の課程で冬の生活をよりよくするための知恵や文化を育み、積極的に雪に立ちむかう意欲や習慣を定着させるための教育が必要である。と思えます。大人たちの反省と責任の重さを自覚しなければならぬ点ではないでしょうか。

季節感に富んだやまこしの四季折々の自然や産物は、私達の発想如何によつて、自らに自信を与え、優れた交流の素材となります。いま都会に住む多くの人々は、美しい自然や素朴な人情にふれて余暇を楽しみ、人間性を取りもどしたい、そんな欲求がつよ

願いがこめられた生活の中で、の知恵と努力のあとをうかがい知ることが出来ます。私たちが失いかけていた、このよ

今や目前に迫っている二十一世紀に向けて、心豊かで活力あふれる住み良いふる里をつくる。そのためには村民一人一人が使命感に燃え、知恵を出し合つて取り組まなければならぬと思えます。年頭に当りいささかの所感を申し述べ、村民皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



新年の

ごあいさつ

山古志村商工会長 坂牧惣吉



新年おめでとうございます。昭和六十三年の新年を迎え、商工会を代表いたしまして、村民の皆様にごあいさつを申し上げます。最近の我が国の経済状況は、急激な円高等による輸出関連産業の不況が続く、私たち山古志村の小さな企業にまで深刻な影響を与えようになってまいりました。ここに働いておられる村民の皆様方も、度重なるコストダウンやより一層の技術向上を迫られ、それに対応しておられるご努力には、敬意を表し感謝申し上げます。

また、私たち商工業者の大切なお客様である農家の皆様方も、まさかと思われる米価の引き下げや海外からの農産物自由化攻勢等、厳しい経済環境の中で、心痛されおられることと存じます。「村民と共に」と常に考えている

私たち商工業者ですが、これらの状況にあわせ、過疎化による人口の減少や近隣都市への買物客の流出等が重なり、経済環境は厳しくなる一方であります。このような現状を打破するため、山古志村に住む私たちは、今後の心構え・対応策を皆様と共に真剣に考える必要があるのではと思っております。私と同年代の人たちは、戦中・戦後の混乱期に青春を犠牲にして、食う物も食わず、馬車馬の如く無中で働いてまいりました。夏期は村内労働、冬期間は子供の教育など一切を母親に託して出稼ぎ、と労働に明け暮れる毎日でした。そして生活も向上し、やれやれ一安心と思つて立ち上り、あたりを見回すと、自分たちの後を継ぎ守つてくれる一番大切な子供や孫たちの生活を支える仕事場がなくなり、過疎化が進んでいったのが現実です。私たちの祖先が営々と築いてきたこの山古志村を、次の世代にしっかりと引き継いで行くのが私たち親身に課せられた責任ではないでしょうか。

幸にも先人たちは、豊かな自然と暖い人情、それに泳ぐ宝石錦鯉や牛の角突きなどの伝統など立派な遺産を残してくれました。みんなで知恵を出し合い、力を合わせてこの遺産を上手に生かし、生活の糧にする方法を考えたものです。商工会の青年・婦人部の諸君が、皆様方のご協力をいただきながら進めてまいりました「村おこし事業」。これが県の補助対象事業として認められ、現在皆様をはじめ関係機関・団体等のご協力をいただきながら活動中です。この事業を通じて、少しでも村民の皆様のお役に立てればと、会員一同全力投球で頑張っております。この事業の成功は、村民の皆様のご協力なしには考えられません。皆様方と共に、「山古志村の明日」を考え、「子供や孫たちが安心して住める山古志村」を残すため、より力強いご支援をお願いいたします。村民の皆様、新年のご多幸を心からお祈り申し上げます。ごあいさついたします。

財政状況 (62年度上半期・9月末現在)

基金の現在高

| | |
|--------------|-----------|
| 財政調整基金 | 172,829千円 |
| 教育施設整備基金 | 127,821千円 |
| 土地開発基金 | 51,277千円 |
| 減債基金 | 85,731千円 |
| 肉用牛特別導入事業基金 | 24,042千円 |
| 国民年金印紙購買基金 | 12,696千円 |
| 郵便切手類購買基金 | 200千円 |
| 国民健康保険給付準備基金 | 78,526千円 |
| 診療所運営準備基金 | 10,438千円 |

一般会計

| 入 | | | 出 | | |
|-----------|-----------|---------|--------|-----------|---------|
| 歳科 | 予算額 | 収入済額 | 歳科 | 予算額 | 支出済額 |
| 村税 | 84,166 | 46,133 | 会議費 | 42,695 | 20,535 |
| 地方譲与税 | 17,001 | 4,914 | 総務費 | 260,138 | 95,008 |
| 利子割交付金 | 1 | 0 | 衛生費 | 106,745 | 55,422 |
| 自動車取得税交付金 | 10,000 | 4,616 | 労働費 | 55,169 | 26,778 |
| 地方交付税 | 882,548 | 445,187 | 農林水産業費 | 283 | 4 |
| 分担金負担金 | 16,745 | 9,593 | 商工木費 | 46,169 | 39,264 |
| 使用料及び手数料 | 5,496 | 2,486 | 土木費 | 228,274 | 59,257 |
| 国庫支出金 | 66,599 | 9,334 | 消費費 | 26,473 | 11,995 |
| 県支出金 | 100,202 | 9,138 | 教育費 | 229,796 | 64,039 |
| 財産収入 | 14,168 | 8,637 | 災害復旧費 | 81,670 | 20,880 |
| 寄附入金 | 1 | 0 | 債費 | 244,604 | 118,688 |
| 繰入金 | 67,349 | 60,000 | 諸予備費 | 1 | 0 |
| 繰越入金 | 25,000 | 27,576 | | | |
| 雑収 | 56,204 | 6,217 | | | |
| 諸村債 | 170,400 | 0 | | | |
| 合計 | 1,515,880 | 633,831 | 合計 | 1,515,880 | 546,781 |

特別会計

| 予算額 | 国民健康保険 | 山古志村診療所 | 山古志村歯科診療所 | 老人保健 |
|------|---------|---------|-----------|---------|
| 予算額 | 229,921 | 68,400 | 23,710 | 173,790 |
| 収入済額 | 96,493 | 31,354 | 11,086 | 95,972 |
| 支出済額 | 77,471 | 29,932 | 10,765 | 95,304 |

1月の

納税・保険料

- ★村民税(4期分)
- ★国民健康保険料(1月分)
- ★国民年金保険料(1月分)
- ★保育料(1月分)



新年の いあこわし

山古志村農業協同組合長
山口 博



組合員各位並びに村民の皆様、明けましておめでと。ございます。昨年中は農協の運営につきまして、皆様方の温かいご支援・ご協力をいただき、心から感謝を申し上げます。今年も私を先頭に職員一同、組合理念に基づき頑張る所存でございますのでよろしくお願い申し上げます。

昨年はいよいよ、積雪量が少なかったため例年になく春の訪れが早く、その後の夏・秋の好天にも恵まれ、四年連続の豊作になりました。作況指数は本県が一〇四・中越地区では一〇六という数値で、農協の集荷量も最高の「自主流通米五、八〇〇俵余、政府米約五〇〇俵、超過米約四〇〇俵、合計六、六三九俵」という実績を上げることができました。改めて、皆様方のご苦勞に感謝とお礼を申し上げます。

新年の いあこわし

山古志漁業協同組合長
関 登志雄



皆様、明けましておめでと。ございます。

昨年は内需拡大が叫ばれる中で、農産物等の自由化攻勢、輸入課徴金制度の強化、さらにとどまることのない円高と、国の内外を問わず厳しい社会経済状況に終始いたしました。

錦鯉業界も他業種同様に、この社会経済状況に対応せざるを得ず、経営改善、専業化・兼業化への分化等が進みつつあります。このような状況の中で、発祥地の誇り、そして貴重な先人の遺産である錦鯉の生産性向上・優秀品産出等の経営努力、普及宣伝・流通販路の拡大等の販売努力などを重ねられながら、組合運営にも寄与されました組合員の皆様並びに関係機関の各位には、役員一同を代表いたしましてお礼を申し上げます。

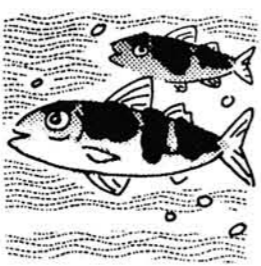
ます。

しかし、この喜びの反面、現在の農業情勢を展望するに、米価引き下げ等実情は私たちの願いとは全く逆の方向に進展しています。このような農業政策に対しては、連日報道で批判されており、諸情勢の厳しさに明るい展望が見込めず、若者の農業離れはいつそう進んでいます。生産調整しても転作条件は悪く、さらに昨今は、益々国際化の進展に拍車がかかり、食糧需要の多様化により消費も停滞しています。歴史の古い日本農業（稲作）ですが、長期展望に立つた農業政策の確立が緊急の課題だと思われまます。

私は昨年、アメリカの農業を視察してきました。まず驚いたことは、その規模の大きさと、カリフォルニア州の日系人（鮫岡氏）経営の農場は広さが、直線で七〇km、周囲は二四〇kmです。日本と同じに国策で三八％の生産調整を実施しており、日本向の米は僅かしか生産していないということです。



しかし、そのご努力には感謝を申し上げます。成果は遅々として上らず他業種同様この社会経済状況から抜け出せないのが実態でございます。明けて一九八八年、今世紀も余すところわずかですが、錦鯉業界につきましては先人に恥じないよう、今世紀の有終の美を飾りたいと願っております。



いま、錦鯉社会の成長課程を振り返ってみると、それは生産者自らの主体性で築き上げたものかどうか、失礼ですが疑問を感じざるを得ません。高度経済成長の波に乗り、科学の進歩に助けられ、必然的に潤って来た感が否めません。オイルショックに始まった景気の低迷から続く今日までの外的要因の変化。これらへの対応は全て後手を追い、景気回復という条件のみ依存する状態で、錦鯉生産の根本理念までが置き忘れられがちな今日です。良し悪しの問題だけではなく、最近の社会が現実的な考え方をしなければならなくなっているのも事実ではあります。

気象や水利条件が適さないため生産が難しく、マスコミとは違うということ。転作は綿と果樹（クルミ）に力を入れていました。また、ハリスの牧場では、乳用牛四、〇〇〇頭と肉用牛一〇万頭が飼育されており、企業的に考えられた一貫経営で、コスト低減策が合理的に行われていました。日本の農業も国境を超え、激しい競争を強いられる時代となりました。このようなときこそ、協同の力が必要と思われまます。農協も合併後二年五カ月を経過し、幸いに金融も順調な伸びで、貯金額は十五億円に達しています。これにつきましても皆様にお礼を申し上げます。本年も益々協同の輪を強く広げ、農家経済の向上に努力いたします。ご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝をお祈りいたします。

62年度 転作実績

目標達成・ご協力
ありがとうございました

割当面積が前年比一四八％と大幅に増加された六十二年の転作。目標達成が心配されましたが、農

家のみなさまのご協力により、達成率二六・四％となりました。ご協力ありがとうございました。六十二年の転作割当面積は七・一haで、前年の一八・三haに比べて八・八haの増加でしたが、転作を実施していただいた面積は三四・三haでした。転作物物の内訳は次のとおりです。

- 水田養魚一三三・六a(五二・三％)
- レンコン五二・二a(二〇・五％)
- 果樹 一〇二・一a(四％)
- 飼料作物九五・一a(三・七％)
- その他野菜八九・九a(三・五％)
- 小豆 八七・一a(三・四％)
- 林地 八五・一a(三・四％)
- 大豆 八三・一a(三・三％)
- 青刈稲 七六・一a(三％)
- ソバ 六五・一a(二・六％)
- その他 八・一a(〇・三％)

この他、水田養魚の継続分八九〇aが、実績として加算されています。

62年度産米 集荷実績 豊作

春の雪消えが早く、夏・秋の天候にも恵まれた六十二年の稲作。農協の集荷実績は、八、〇三〇俵で前年の七、五二七俵に比べ五・三俵(六・八％)の増加となりました。しかし、残念なことに米価が三十一一年ぶりとかで約六％引き下げ

普及所から

農改コーナー

身体も心も暖かくなる
なべ料理を

寒い季節は、なべ料理が一番です。野菜をたっぷり入れ、あとでモチやうどん、ごはんなどを加えて煮て食べるのもおいしいものです。



- ◆とり肉と春雨のなべ
材料、四人分
とり肉二百グラム、春雨八十グラム、生しいたけ四枚、白菜二百グラム、長ネギ二本、スープ五カップ、塩・砂糖・しょうゆ各少々。
〈作り方〉
①春雨はたっぷりのお湯につけ、戻しておく。
②生しいたけは四つ切り、白菜は一口大、ネギは斜めに切る。
③東京・平和島の東京流通センター内。今回は第二十二回記念として「錦鯉の歴史展」等の特別な催しも行われるなど、盛大に開催されます。入場料も無料です。
④全国から集まるみことな錦鯉のかずかず。全国レベルの錦鯉を見たい、ぜひお出かけください。
⑤錦鯉の出品については、漁協にご相談ください。

- ◆野菜なべ
材料、四人分
大根五百グラム、里いも四個、にんじん半本、白菜六枚、じゃがいも四個、糸コンニャク一玉、えのきだけ一袋、しめじ一パック、春菊一束、豆腐半丁、長ネギ二本、塩鮭のガラ一本分、スープ五カップ、しょうゆ・みりん各少々。
〈作り方〉
①野菜は皮をむき、一口大よりやや大きく切る。大根は下ゆでしておく。
②土なべにスープを入れ、しょうゆ・みりんを少々加える。野菜を固いものから順に入れる。
③塩鮭はザルに入れ、お湯をかけてからなべに入れる。豆腐・長ネギを入れ、しょうゆで味をととのえる。
④とり肉は一口大に切り、さつ湯をかける。
⑤土なべにスープ・塩・砂糖少々を入れ、白菜・とり肉を入れて煮る。次に春雨・しいたけ・ネギを入れて煮る。最後にしょうゆを少々たらしながら、味をととのえる。

スキー教室 (一般対象)

- 1月10日(日) 種芋原 午前9時~12時
- 1月31日(日) 虫亀 午前9時~12時

※全日本スキー連盟の有資格指導員が指導いたします。多数ご参加ください。

ユアセルフ 健康

中央総合病院 副院長 杉山一教 医師 富所 隆

記録的な視聴率を残して、NHKの大河ドラマ「独眼竜政宗」が終りました。変って今年から、新潟県とは非常に縁の深い「武田信玄」が登場してきます。天下統一を志し、上杉謙信と川中島で幾度も戦ったことはあまりにも有名ですが、実は信玄も謙信も戦では死なずに、労咳（結核）で世を去ったとされています。戦国時代から第二次大戦の終るまで、この結核は日本人の死因の主要な位置を占めていました。有効な薬も無く、寝汗をかき、次第に痩せ、咳・咯血をして亡くなってしまいました。しかし戦後、特效薬であるストレプトマイシンが発見されてから、結核はもはや不治の病ではなくなり、結核患者は激減し、現在では殆んど見られなくなりました。



杉山一教先生

患者の早期発見、伝染の予防なども実に大きな役割を果たしました。薬と早期発見が、結核症を世の中から無くしてしまつたのです。変って、不治の病として登場してきたのが、がんというやつかいな病気です。それは死の宣告の響として聞こえてきます。現在、脳卒中・心臓病を抜いて日本人の死因のトップを占めています。このため毎年約二十万人の人たちが癌のために亡くなっています。癌は頭のてつぺんから足の先まで、至るところに発生します。他人に移ることは決してありませんが、放っておくと体のあちこちに飛んで行って悪さをします。そして、最後に人間を死に追いやってしまいます。



富所隆先生

残念ながら、未だ癌の特效薬はありません。しかし、多くの医師は、癌を昔の結核のように世の中から無くするように努力をし、そしてその成果が着々と見られるようになってきました。胃癌・子宮癌・乳癌などは、確実に死亡者数を減らしてきました。

（以下次号）
残念ながら、未だ癌の特效薬はありません。しかし、多くの医師は、癌を昔の結核のように世の中から無くするように努力をし、そしてその成果が着々と見られるようになってきました。胃癌・子宮癌・乳癌などは、確実に死亡者数を減らしてきました。

年々高齢化の進む山古志村。これに伴い罹病率も年々高まっています。ふだんは安易に見過ごされがちな健康ですが、何事においても「健康第一」、生涯の何よりの宝です。大切にいたしましょう。現在、医療が身近になり病気になるから病院にという考え方が一般的ですが、この考え方はもう古くなってきたようです。最近は一歩進んで、病気の予防・早期発見に重点が置かれるようになり、「健康管理は自分で」という時代になってきたようです。このため、病気の早期発見を第一義に毎年住民検診を行っていますが、残念なことに、受診率が思ったより低いのが現状です。そこで、みなさんから病気を理解し、健康を守っていただくため、今月から中央総合病院の杉山副院長と富所先生（内科医師）のご好意で、病気にまつて執筆いただき連載することになりました。両先生とも検診にはよくおいでいただいている、みなさまご存知の先生方です。



肉用牛の経営者研修会

山古志村で 肉用牛の 経営者研修会

アメリカから農産物自由化の圧力が年々強くなってきており、肉用牛の振興策を進めている山古志村としては、その動向がたいへん気になるようです。国内的には枝肉相場は高値で推移していますが、反面素牛価格が一頭四十万円

短歌を 作らう

25年

昨年十二月初旬、種芋原の坂牧武さんから一冊のノートを見せただきました。そのノートには短歌がびっしりと書きつづつてあり、数えたら約二百首ほどありました。花・自然を歌ったものも多く、家族を歌ったものもありましたが、どれも心のこもったものばかりで、だれにもわかりやすく歌ってありました。坂牧さんはこれを見、よい歌なので感心され、多くの人に紹介してもらいたいと広報係に届けてくださいました。

英さん方・七十六歳）です。星野さんは四十六歳でご主人を亡くされ、その後一人で二人の子供を育ててこられました。現在は娘さん夫婦（衛星野製作所経営）とお孫さんに囲まれて暮らしています。歌を作り始めたのは、ご主人が亡くなり、冬一人で話し相手がなく淋しかったときだそうです。以来約二十五年、誰からも手ほどきを受けず、新聞の短歌欄を見、時々テレビの短歌番組を見、全く独学で学びながら作り続けてこられたのです。毎年正月に皇居で行われる「歌会始」を楽しみに待っているそうです。



▲ 星野チユキさん

「花がとてほ好きで特に山百合が大好き」春の山々が青くなってくるのはいいですね」と言われる星野さん。なるほど自然を歌ったものが多くあります。「心にあるままに書いた」と言われますが、たしかに一つ一つ心がこもって、誰にもわかりやすく歌ってあります。

よくできた歌、心に残る歌はいくつかあるそうですが、特に弟さんを戦争で亡くしているのが、靖国神社に参拝したときは思わず涙が出たそうで、そのときの歌が、「幾万の 御たまの眠る 御前にぬかずく我は むねのせまりて」。

雪降る日 ただもの思ふそのことは 遠く離れし二人の娘らよ
降る雪に うたれてかよう幼稚園 はげむ心ぞいじらしと思ふ
山桜 ひっそり野辺に咲ほこる この美しさ知る人もなし
秋深し 丈なる草の根かたにて つつましく咲くりんどうの花
谷あいの 水のせせらぎ聞きながら ほのかに匂う山百合の花

斉藤カズさん、にいがた牛を語る

前後という異常な高値となつていいます。円高のため、輸入飼料が安くなつてはいるものの諸要素を勘案してみれば、肉用牛をとり巻く状況は楽観を許さないようです。十二月二日に山古志村で長岡市と山古志村の肉用牛経営者と関係者が参加して、視察研修会が行われました。経営者、共済組合、農協、普及所、農政事務所、市役所、役場と関係者を網らした参加者約三十人。まず、村内のモデル経営として牛舎三方所（斉藤利行・池谷、樺沢正利・種学原、関正史・梶金）を視察、その後農協竹沢支所で、「低コストでもわかる畜産」をめざして研修会が開かれました。



肉用牛経営をはじめて十一年というベテランの斉藤さんにとつて、話合の内容は技術面等のレベルがやや物足りなかつたようです。この会は、当日のテレビでも放送されました。